

フィンランド語文法：豆知識⑦ 場所を表す格の歴史について

「フィンランド語との対話—吉田欣吾」

<https://yoshidakingo.com/>



フィンランド語の歴史

●ウラル祖語

●フィン・ウゴル祖語

.....

●フィン・サーミ祖語

●フィン祖語

●バルト・フィン諸語



ウラル祖語における格体系（一つの学説）

- nominatiivi（主格） 「～は」 -∅
- genetiivi（属格） 「～の」 *-n
- akkusatiivi（対格） 「～を」 *-m
- lokatiivi（所格？） 「～で/に」 *-nA
- ablatiivi（奪格？） 「～から」 *-tA
- latiivi（向格？） 「～へ」 *-k(i), -n ...
- (?) translatiivi（変格） 「～へ」 *-kse 

主格・属格・対格

●nominatiivi (主格)	「～は」	-∅
●genetiivi (属格)	「～の」	*-n
●akkusatiivi (対格)	「～を」	*-m

バルト・フィン諸語では *-m > -n

⇒ 属格と対格は同じ形に



場所を表す格 (1)

- lokatiivi (所格?) 「～で/に」 *-nA
- ablatiivi (奪格?) 「～から」 *-tA
- latiivi (向格?) 「～へ」 *-k(i), -n ...
- (?) translatiivi (変格) 「～へ」 *-kse

所格＝様格

luona, takana,

奪格＝分格

luota, takaa

向格・変格

luo^x/luokse^x, taa^x/taakse^x



場所を表す格 (2) —フィン・サーミ祖語

● **inessiivi** (内格) 「～で/に」 ***-snA**

● **elatiivi** (出格) 「～から」 ***-stA**

● **illatiivi** (入格) 「～へ」 ***-sen**

-s- は「～へ」???? (ulos, alas, kauas ...)

内格 : ***-s + -nA > *-snA > -ssA**

出格 : ***-s + -tA > -stA**

入格 : ***-s + -n > *-sen > *-hen > (h-)母音-n ~ -seen**



場所を表す格 (3) —フィン祖語

- adessiivi (接格) 「～で/に」 *-lnA
- ablatiivi (奪格) 「～から」 *-ltA
- allatiivi (向格) 「～へ」 *-len

-l- は「近いこと」を表す要素??

接格 : *-l + -nA > *-lnA > -lIA

奪格 : *-l + -tA > -ltA

向格 : *-l + -n > *-len > *-llen > -lle^x



様格・分格・変格

様格・分格・変格は場所を表す働きを失い、現在のよう
な用法へと変化していく。



格の分類

	内部	外部	抽象
静止点	内格	接格	様格
出発点	出格	奪格	(分格)
到達点	入格	向格	変格



静止点

- 静止点＝内格・接格・様格

Hän pysyi **huoneessa**. 彼は部屋にとどまった。

Hän pysyi **asemalla**. 彼は駅にとどまった。

Hän pysyi **terveenä**. 彼は健康なままだった。

- 場所を表す様格

kotona, ulkona, kaukana, takana, luona



出発点

- 出発点＝出格・奪格（・分格）

Hän tulee **huoneesta**. 彼は部屋から来る。

Hän tulee **asemalta**. 彼は駅から来る。

(Hän tulee **ulkoa**. 彼は外から来る。)

- 場所を表す分格

kotoa, ulkoa, kaukaa, takaa, luota



到達点

- 到達点＝入格・向格・変格

Hän tulee **huoneeseen**. 彼は部屋へ来る。

Hän tulee **asemalle**. 彼は駅へ来る。

Hän tulee **terveeksi**. 彼は健康になる。

- 場所を表す変格

taakse, luokse



言語に関する誤解

●発展か変化か？

